

Ⅱ 配偶者からの被害経験

1 これまでの被害経験

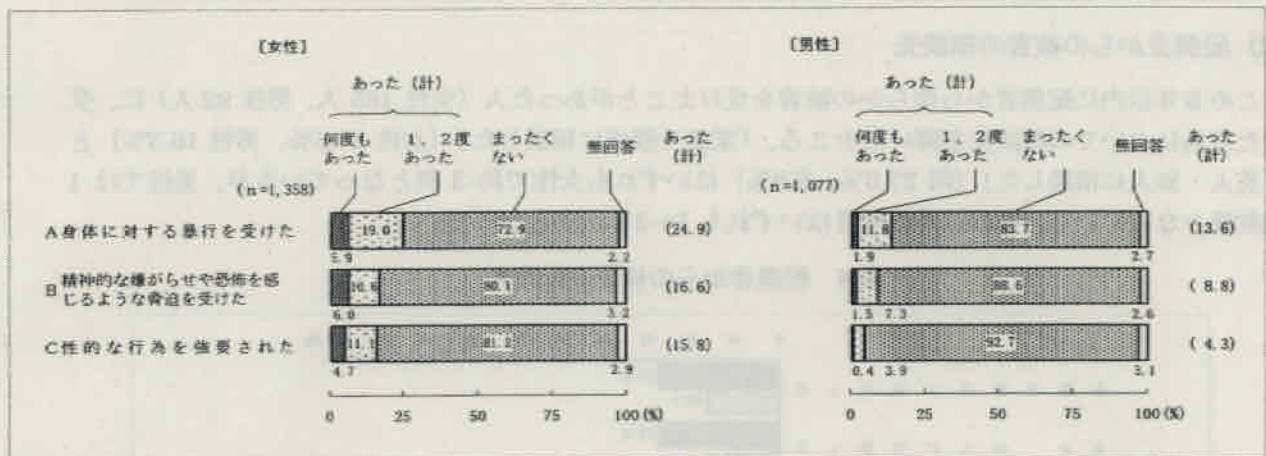
これまでに結婚したことのある人（女性 1,358 人、男性 1,077 人）に、3つの行為をあげて、配偶者から被害を受けたことがあるかを聞いた。なお、ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含んでいる。

これまでに“なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた”ことが『あった』という人は女性 24.9%、男性 13.6%となっている。

“人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが『あった』という人は女性 16.6%、男性 8.8%となっている。

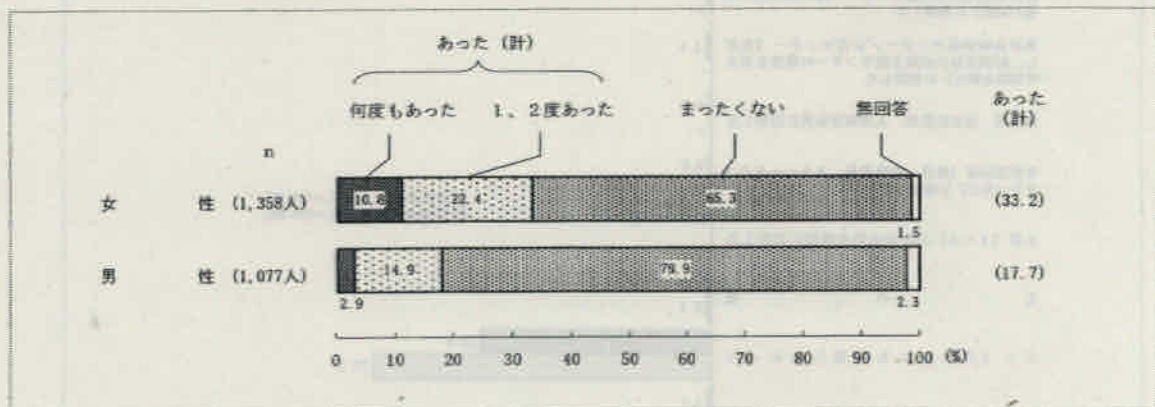
“いやがっているのに性的な行為を強要された”ことが『あった』という人は、女性 15.8%、男性 4.3%となっている。

図1 配偶者からの被害経験



配偶者からの被害経験をまとめてみると、“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”のいずれかを1つでも受けたことが「何どもあった」という人は女性 10.8%、男性 2.9%となっている。

図2 配偶者からの被害経験 - 「いずれかの行為を1つでも受けたことがある」



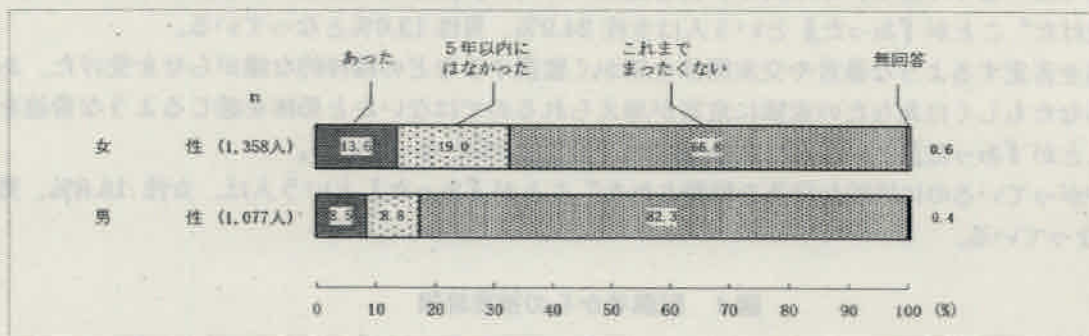
2 過去5年以内の被害経験

(1) 過去5年以内の被害経験

この5年以内に配偶者から何らかの被害を受けた経験の有無を、これまでに結婚したことのある人(女性1,358人、男性1,077人)でみると、女性では全体の13.6%が被害を受けたことが『あった』と答えているのに対して、男性では8.5%となっている。

図3 配偶者からの被害経験

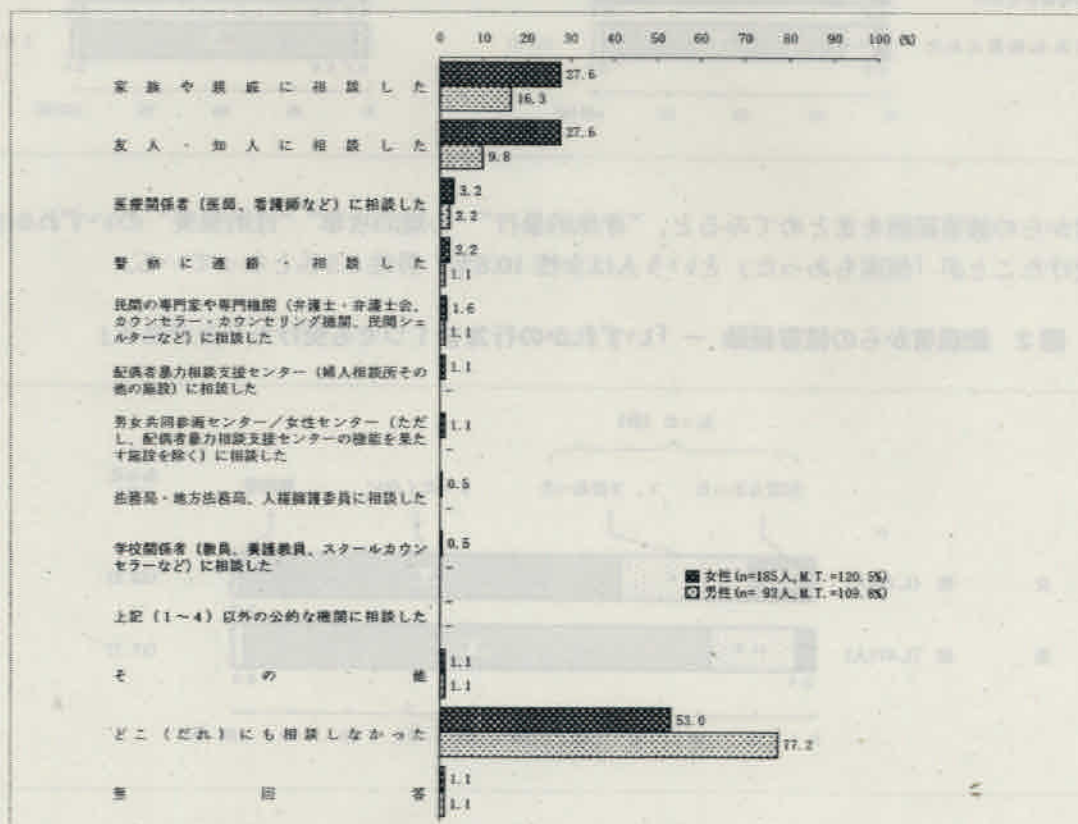
— 過去5年間・「いずれかの行為を1つでも受けたことがある」(全体ベース)



(2) 配偶者からの被害の相談先

この5年以内に配偶者から何らかの被害を受けたことがあった人(女性185人、男性92人)に、受けた行為についての相談先を聞いたところ、「家族や親戚に相談した」(女性27.6%、男性16.3%)と「友人・知人に相談した」(同27.6%、9.8%)はいずれも女性で約3割となっているが、男性では1割前後となっている。それ以外の項目はいずれも1~3%程度となっている。

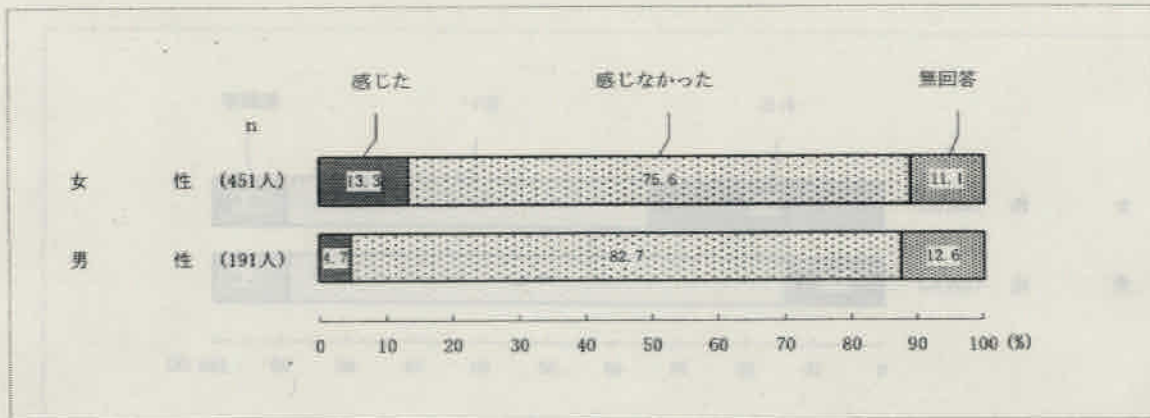
図4 配偶者からの被害の相談先



4 命の危険を感じた経験

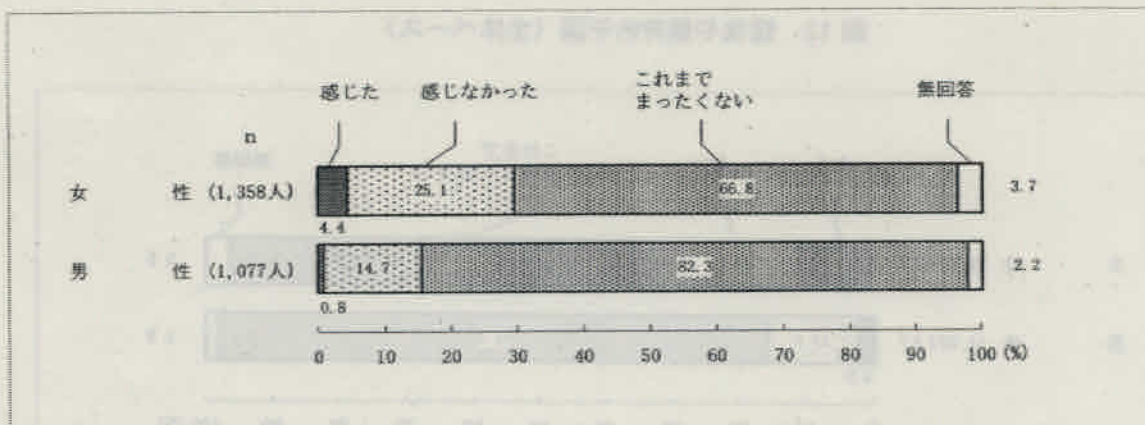
これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（女性 451 人、男性 191 人）に、その行為によって、命の危険を感じたことがあるか聞いたところ、女性の 13.3%が命の危険を「感じた」と回答しているのに対して、男性では 4.7%となっている。

図 9 命の危険を感じた経験



今までに被害を受けたことのない人も含めて、これまでに結婚したことのある人（女性 1,358 人、男性 1,077 人）でみると、命の危険を「感じた」という人は女性 4.4%、男性 0.8%となっている。

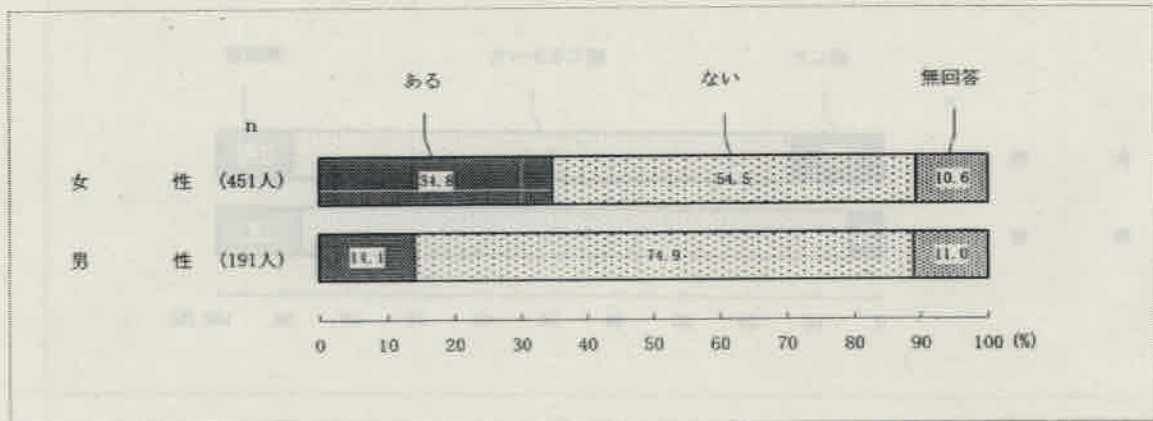
図 10 命の危険を感じた経験（全体ベース）



5 怪我や精神的不調

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（女性 451 人、男性 191 人）に、その行為によって、怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことがあるかを聞いたところ、女性の 34.8% が怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことが「ある」と回答しているのに対して、男性では 14.1% となっている。

図 11 怪我や精神的不調



今までに被害を受けたことのない人も含めて、これまでに結婚したことのある人（女性 1,358 人、男性 1,077 人）でみると、怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことが「ある」という人は女性 11.6%、男性 2.5%となっている。

図 12 怪我や精神的不調（全体ベース）

